

で居る。

かやうに嗜眠状態になるものは症状が重いのであるから早く醫師の診察を乞はなければならぬ。

しかし醫師の治療よりは家庭の注意は更に大切である。すべて消化不良症の初めには食物をあまり與へないでおくがよい。むしろ一晝夜位絶食させるがよい。絶食してゐる間に小兒の疲れ果てた胃腸は十分休養することが出來、従つて早くその機能を快復することが出来る。それで一晝夜位の絶食後は大抵體溫も降り、幼兒の意識もはつきりして來て元氣が出てくるものである。食物は攝しなければならぬが、渴を訴へる時には適當に水分を與へることが必要である。嘔吐や嘔氣の多い時は渴を醫するには冷やし番茶など極く小量ずつ與へておくがよい。微溫湯は却つて嘔吐にはよくない。初めは十分食物を攝しなければならぬが、輕快してくるにつれて重湯、牛乳、果汁、野菜ス

ープ等適宜に與へ早く榮養を恢復させるやうに努めなければならぬ。これ等の點に就てはよく醫師の指圖に従ふがよい。

### 藤の實

藤の實が目につくようになった。

やはらかに生ひ茂つた藤の葉のかげが濃くなつたと思ふ中にもうあんなに實がのびて來た。

どうして落ちたものか、五六寸ばかりの實一つ、砂まじりの地べたに落ちてゐるのを見つけてから後の藤棚のまはりは一しきり大變なさはぎ。

幸ひに手の届くかぎりではなく、自分達の小さい椅子に乗つたつて、棒で突つついたつて容易にとれそうもないので數は減りもしない、

小さい組の子二人ばかり「もうおはいり」と云へば残り惜しげに見かへりつゝも室へとはいつて行く。大きい組の五六人はどうして、どうして、たう／＼先生を引ばつて一つ我がものたせではやまぬと云つた勢で先生をせびつて居る。先生が椅子に乗つて、ありつたけいのびをしてやつと落した一つを誰の物とする迄にかなり長い間かゝつてゐるようだ。丁度これが眞正面に見える室に居るので帽子もかぶつてバスケットもさげて歸るばかりで居ながらこの様子が何だか面白くていつ迄も見て居た。

(よし子)